

報告書抄録

ふりがな	きよたきでらいせき・のうにんじいせき							
書名	清滝寺遺跡・能仁寺遺跡Ⅱ							
シリーズ名	能仁寺川通常砂防工事に伴う発掘調査報告書							
シリーズ番号	2							
編著者名	中川治美							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課 公益財団法人滋賀県文化財保護協会							
所在地	滋賀県大津市京町四丁目1番1号 滋賀県大津市瀬田南大萱町1732番2号							
発行年月日	平成26年(2014年)3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査 面積	調査期間	調査 原因
		市町	遺跡番号	北緯	東経			
きよたきでらいせき 清滝寺遺跡・ のうにんじいせき 能仁寺遺跡	しがけんまいほらし 滋賀県米原市 きよたき 清滝	461	121 122	35度20分60秒	136度23分25秒	4,645㎡	2010.4.21 ～ 2011.6.17	能仁寺川通常砂防 工事
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
清滝寺遺跡	その他	江戸時代後期以降	平坦地・参道・溝・土坑・ピット	土師器・陶器・磁器・瓦・銭貨・石塔・石臼・砥石				
能仁寺遺跡	墓	室町時代中期	墓	陶器・土師器・石塔				
	寺院	室町時代中期	掘立柱建物・基壇・礎石立建物・方形区画・池・板埋設土坑・木槽埋設土坑・参道・溝・土坑・ピット等	陶器・土師器・青磁・白磁・瓦質土器・漆器・瓦・石鍋・茶臼・砥石・石塔・鉄釘・銅製飾り金具・銭貨・曲物・建築部材・箸・木簡	「仁」の文字を記した白磁・習書木簡			
	その他	室町時代後期	土師器皿集積土坑・大甕埋設土坑	土師器・陶器・瓦質土器・青磁・瓦・石塔・鉄釘・銅製飾り金具				
要約	<p>京極家の菩提寺「清瀧寺徳源院」の南接地で、15世紀の京極氏の寺院と墓所が確認された。墓所は火葬墓と供養塔で構成されるもので、細長い方形区画上に五輪塔を並べ、地中に焼人骨を埋葬する構造であり、中世墓の実態および京極氏の墓域の様相を推定できる資料となった。墓所の前面には寺院が築造され、北側に基壇を伴う礎石立建物、南側に方形区画を配し、参道が取り付く。当該期は京極高詮没後にあたり、伝「能仁寺」跡である可能性が高まった。調査区の東側では近世以降の「清瀧寺参道」が確認された。</p>							